

学習院大学史学会 2023年度例会

日時:12月9日(土)

開場:13時30分 講演・質疑:14時~17時

会場:西5号館202教室

古代東アジア国際関係史

—連動する東アジアの国々—

講師 / 題目:

河内春人氏 (関東学院大学経済学部教授)

「相克する世界観

—古代東アジア外交の接点をめぐって—

金子修一氏 (國學院大學、山梨大学名誉教授)

「9世紀後半から10世紀前半における東アジア国際関係の推移

—『資治通鑑』を根拠として—

対面開催

オンライン
併用

オンライン参加の方は12月2日まで参加登録フォームよりお申し込みください。

【参加登録申請フォーム】

<https://forms.gle/aCZ4jk6DtNAHNZjXA>



〈お問合せ〉

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

学習院大学文学部史学科 学習院大学史学会

reikai.gakushuin.1847@gmail.com (例会担当: 宋瑞昇)

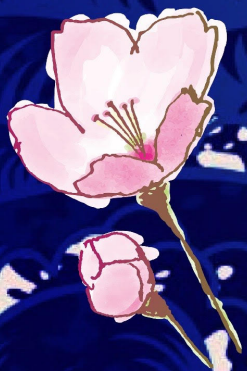
西安 輝く大慈恩寺の夜

礼泉県 車から眺めた太宗昭陵

西安 安倍仲麻呂記念碑

写真提供: 宋瑞昇

西安 胡人の像



古代東アジア世界における唐と日本をはじめとする国々は、各々の周辺国の成り行きをふまえて巧みな外交をしていました。本シンポジウムでは、東アジア世界独特の国際情勢について古代史の分野からご講演いただきます。

当日のスケジュール

12月9日（土）

13:30 開場

14:00～14:05 開会挨拶

14:05～14:55 河内春人氏講演

「相克する世界観—古代東アジア外交の接点をめぐって—」

14:55～15:05 休憩

15:05～15:55 金子修一氏講演

「9世紀後半から10世紀前半における東アジア国際関係の推移—『資治通鑑』を根拠として—」

15:55～16:05 休憩

16:05～16:20 コメンテーターによる発言

16:20～17:00 質疑応答→閉会



〈最寄り交通アクセス〉
JR山手線目白駅を降りて
西門から徒歩約5分。

※桜印のついている西5号館までお越しください。

